

# VI. 情報提供

## 1. 原稿依頼

刊行物名 (巻号)	内 容	執筆者
長崎新聞	研究所から（平成 27 年 7 月 5 日） 「粘土を原料とする抗菌剤と応用製品の開発」 県有特許を活用して作業した抗菌剤を陶器製の保存容器に用い、安全・安心を向上	阿部 久雄
	研究所から（平成 27 年 11 月 1 日） 「低温焼成用陶土の開発」 従来より 100℃低い温度で焼成できる陶土を開発し、従来と遜色のない「手洗鉢」を開発	河野 将明
	研究所から（平成 28 年 2 月 7 日） 「デザイン開発支援事業」 県内のデザイナー、企業等でネットワークを組織し、「長崎デザインアワード」、「デザイナーズバンク」等の事業を運営し、県内企業の商品開発を推進	桐山 有司

## 2. 刊行物

刊行物名	内 容	発 行
技術情報誌 「KAMA (窯)」	研究紹介、技術情報、お知らせ 特集記事「知って得するやきものの豆知識」 ○41号 ①やきものの乾燥とヒビのはなし ②ユニバーサルデザインと身度尺（しんどしゃく）のはなし ③焼成温度とSKのはなし ○42号 ①遠赤外線と素材のはなし ②白色度のはなし ③ユニバーサル・デザインのはなし(2)	A4判 6 ページ 発行月：8月(41号) 3月(42号) 発行部数：1,500部
業務報告	組織、施設概要、試験研究、技術支援、依頼試験、共同研究等の業務実績報告	A4判 69 ページ 発行月：10月 発行部数：500部
研究報告	○戦略プロジェクト研究 2 件 (海外輸出向け活魚輸送技術、熱輻射活用型放熱部材) ○経常研究 5 件 (低炭素社会対応型陶磁器素材、中国・アジア市場向け新世代家庭用食器、機械ろくろ成形技術、高齢者QOL向上させる自助食器、ジオポリマーコンクリート) ○行政要望課題 2 件 (産業廃棄物の有効活用技術・ゼオライト合成、リン除去技術) ○研究マネジメント FS 1 件 (陶磁器製品の汚れ落ち可能性調査) ○新製品・新技術共同開発事業 1 件 (ながさき無鉛洋絵具)	A4判 54 ページ 発行月：12月 発行部数：300部

## 3. ホームページによる業務紹介

目 的	窯業技術センターの業務や活動内容を多くの人々に周知する。
ア ド レ ス	<a href="http://www.pref.nagasaki.jp/yogyo/">http://www.pref.nagasaki.jp/yogyo/</a>
アクセス件数	トップページへのアクセス数：12,940件 総アクセスページ数：34,068件 期間：平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日